

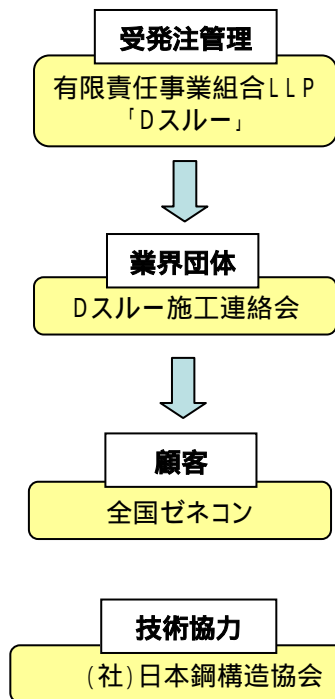
地域	愛知県名古屋市	認定日	平成18年10月20日	4 - 18 - 036
事業分類	製造(金属・同製品)	テーマ分類	防災・防犯	

事業名: 耐震建築用基礎ボルト工事システムの全国展開事業

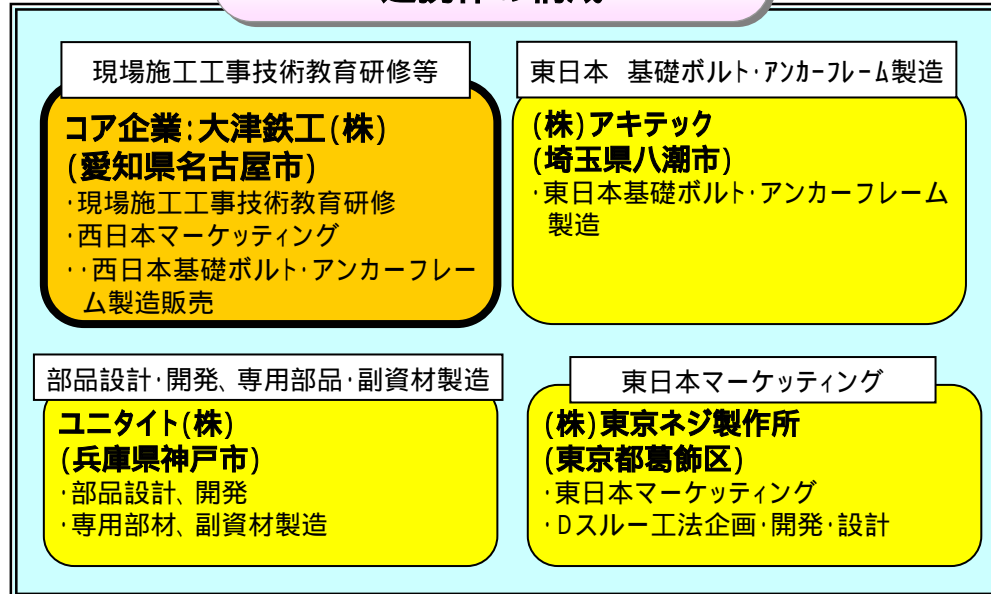
事業概要(新規性、市場性等)

- ・建築物の土台と柱脚の接合部分を固定するために使用する基礎ボルトの製造・販売事業である。鉄骨柱脚基礎の品質安定化を図るため、「基礎ボルト(アンカーボルト)の製造」、「Dスルー工法を活用したアンカーフレーム(基礎ボルト枠組と設置架台)の製造組立」、「現場施工工事技術教育研修」を組み合わせて全国に当システムの普及を目指す。
- ・本事業で建設基礎市場をリードするために採用した「Dスルー工法」とは、基礎ボルトと脚部が直結するシンプルな構造によって基礎鉄筋(D筋)と基礎ボルトを干渉させない点に着眼して考案された特許工法のこと。
- ・基礎ボルトには2000年の建築基準法改正で新しく指定された建築用SNR鋼材は耐震性能(伸び能力)が高くビルの倒壊被害を防ぐ。
- ・Dスルー工法は建設現場において長年改善が求められていた工期の短縮、コストダウン、安全作業の確保に対し大きなメリットがあり、基礎ボルトの売上40億円、シェア40%、設置施工工事の売上60億円、シェア30%以上を見込む。

事業推進体制



連携体の構成



従来工法とDスルー工法の比較

(アングル鋼材架台) と (Dスルーボルト架台)



支援予定メニュー

補助金 低利融資(商工申金)

連携のきっかけ、特徴

- ・建設業界初の特許「Dスルー工法」を活用し、経済的かつ安心な耐震建設用基礎ボルト工事システムの背負う増販売を行う事業。
- ・1995年に発生した阪神大震災での現地被害調査の報告等発表の中で、建築物及び基礎とを緊結する基礎ボルトの破断破損により、多くの建物が転倒・倒壊し、火災発生等の大変な被害が出る大きな原因であったことが判明した。その後の新潟地震、三陸沖地震と最近の東海地震の予兆やさらに最近の耐震偽装鉄筋コンクリートマンション騒動で私たちの財産と人名を守る建築物の耐震性に関心が高まっている。
- ・本事業では柱脚倒壊の防止に有効な耐震性能の「伸び能力」の有る建築用SNR鋼材を使用し、以下の特徴を有するDスルー工法を技術研修を併せて実施することで、全国に普及させることを目的としている。
 - 基礎ボルトと脚部が直結のシンプルな構造で「D筋の配置が容易」
 - 脚部が丸鋼のため「コンクリート注入時に抵抗値が低く位置ずれしない」
 - 段差があっても「脚部ボルト交換による現場合わせで指定位置設置が容易」
 - 水平レベル出しが「脚部ボルトの回転で高さ調整が容易」
 - シンプル設計のためどんな状況の「現場組立や現場施工でも容易」

コア企業の会社概要

企業名・代表者	大津鉄工株式会社 代表取締役 大津 尚彦	
所在地	愛知県名古屋市港区砂美町149番地	
創業	大正12年4月24日	
資本金・従業員数	6,600万円	87名
業種	建設用金属製品製造および工事業	
T E L	052-651-5465	
F A X	052-661-2884	
ホームページ	http://www.otsutekko.co.jp/index.html	
e-mail	nagoya@otsutekko.co.jp	

PR等その他の情報